



大砂土小だより

学校教育目標「自ら学び、考えて行動する児童の育成」

～ 認め合い・学び合い・共に育つ ～

<目指す児童像>

豊かなコミュニケーションの下で、

かしこい子(知) 明るい子(徳) たししい子(体)

令和8年1月8日 第9号

TEL 663-7005

FAX 663-9886

大砂土小学校 ホームページ <http://osato-esaitama-city.ed.jp/> メールアドレス osato-e@saitama-city.ed.jp

新たな一步をと共に刻む一年に

校長 新堀 栄

新春の澄んだ空気の中、校庭の木々は冬の光を受けて静かに輝き、朝日に照らされた霜がきらりと光る様子は、まるで一年の始まりを祝福しているかのようです。小寒を迎えたこの季節、吐く息が白くほどけていくたびに、胸の奥まで清々しさが満ちていきます。子どもたちの足音が戻る前の校舎には凜とした静けさが漂い、その中に新しい季節の息吹が確かに感じられました。やがて、教室には冬休みの思い出を語り合う明るい声が広がり、廊下には久しぶりの再会を喜ぶ笑顔があふれています。

あけましておめでとうございます。今年は午年です。古くから馬は「勢いよく前へ進む力」や「人を運び、支える存在」として親しまれてきました。農作業を助け、旅人を運び、暮らしを支えてきた馬の姿は、努力を惜しまず、着実に前へ進む象徴とされてきました。午年には「思い切って一步を踏み出すと道が開ける」とも言われます。子どもたちが新しい挑戦に向かって、力強く歩み出す一年になることを願っています。

年始には箱根駅伝（東京箱根間往復大学駅伝競走）が行われ、多くの人が選手たちの走りに心を動かされたことでしょう。仲間から託された一本の襷には、努力の積み重ねや支えてくれた人々への感謝、そして次の走者への思いが込められています。苦しい上り坂でも前を向き続ける選手の姿は、まさに粘り強さそのものです。また、自分の区間を責任をもって走り切る主体性と、仲間を信じて襷をつなぐ協働の精神は、これからの時代を生きる子どもたちにとっても大切な姿勢を象徴しています。

結果は、青山学院大学が“同一チームで2度目の3連覇”という歴史的な快挙を成し遂げました。原監督は、選手たちの走りを「300%輝いた」と表現し、その背景には一年一年の積み重ねがあったことを語っています。大きな成果は突然生まれるものではなく、日々の小さな努力が静かに積み重なり、ある日ふと光となって現れる――そのことを、原監督の言葉は改めて教えてくれます。

さらに原監督は、選手たちについて「こんなにも強かったのかと思えるほど、ほれぼれした」と語りました。この言葉は、子どもたちの成長を見守る私たち教職員の思いにも通じます。昨日できなかったことが今日できるようになる。友だちに優しくできた。最後まであきらめずに取り組めた。そうした一つひとつの姿に、私たちは日々心を動かされています。

また、メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手も、正月になると一年の目標を丁寧に書き出し、自分の心を整える時間を大切にしていたと言われます。まるで初詣で願いを胸に刻むように、年の初めに「今年はこうなりたい」という思いを静かに言葉にしていたそうです。後に有名になった“目標達成シート”も、こうした習慣の延長にありました。自ら目標を立て、努力を積み重ねる姿は、主体性と粘り強さの大切さを教えてくれます。

3学期を迎えた本校の子どもたちも、きっとそれぞれに今年目標を書き始めることでしょう。「毎日元気にあいさつする」「漢字をていねいに書く」「友だちに優しくする」など、小さな一歩を自分の言葉で表すことが大切です。こうした小さな積み重ねは、変化の時代を生きる子どもたちにとって、何よりの力になります。社会の変化が速く、正解が一つとは限らないこれからの時代には、自分で「気付き、考え、行動する」主体性が求められます。また、友だちと協力しながら課題に取り組む協働の力、困難に出会ってもあきらめずに挑戦し続ける粘り強さが、未来を切り開く大切な土台となります。

3学期は一年のまとめであると同時に、次の学年への助走期間でもあります。学習の振り返りや生活習慣の見直し、友だちとの関わり方など、一つひとつを整えることが、来年度のよいスタートにつながります。日々の学校生活の中で、友だちと意見を交わし、違いを認め合いながら学ぶ経験は、子どもたちが未来の社会で生き生きと活躍するための大切な力を育てます。そして6年生にとっては、小学校生活の集大成となる特別な時間です。卒業を目前にした今、自分の成長を確かめながら、仲間と過ごす一日一日を大切にしたいと思っています。これまでに身に付けてきた主体性、協働の姿勢、粘り強く取り組む力は、中学校という新しい環境でも必ず支えになります。6年間の歩みを胸に、次のステージへ自信をもって踏み出してほしいと願っています。

一方、子どもたちが安心して学び、挑戦できる環境を整えることが、私たち教職員の最も大切な役割です。安全な学校生活の確保はもちろん、子どもたち一人ひとりの心の健康や幸福感、いわゆるウェルビーイングを大切にしながら、日々の教育活動を進めてまいります。子どもたちが「ここにいていい」と感じられることが、学びの意欲や成長の土台となります。そして、子どもたちが安心して挑戦し、自信をもって進級・進学できるよう、しっかりと支えてまいります。

保護者の皆さま、地域の皆さまとともに、子どもたちの成長と幸福を喜び合える一年にしていきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。